



藤井 潔 Kiyoshi Fujii

広島県立広島皆実高等学校 教員(担当科目:体育) サッカー一部監督
(1996年3月 教育学部卒業)

**本気で考え取り組むこと。
広大でも、十分すごいことができる。**

—教員になった理由と、なった感想は？

小学校4年生で始めたサッカーを大人になってもずっと続けたかったんです。それで高校生になって進路を決める際、パツと思いついたのが、学校の先生になって生徒に指導するという道。これが一番描きやすかったんです。

教員になって最初の5年は、島の学校に勤務しましたが、「こんなことをするために教員になったんじゃない」って感じで、思うようにサッカーもできませんでした。当たり前ですが、サッカーをやることと、教えることは全然違い、描いていた先生像とは大きく違いました。5年も居ればうまくいくようになりましたが、思った以上に大変でした。

—教員や指導者としてのやりがいはい？

教員になって12年以上たつ今も、良かれと思ってやっていることが生徒には伝わらないなど、失敗は数限りなくあります。でも思いが伝わり、生徒が変わってくると「やった!」と感じますし、目標が達成できると、彼らはすごくいい顔をするんです。それが、一番のやりがいです。

生徒に「こうしてほしい」って言うなら、本気でそう思っていないと、サラッと言葉にするだけでは伝わりません。そういう意味では、毎日、試されている感じがします。慣れてくる部分もありますが、情性ではできないですね。

—今、一番大切にしていることは？

優等生的な答えかもしれませんが、生徒との信頼関係です。「なんでもオッケー」という態度では、信頼関係は成立しません。生徒との距離をきちんと保ちながら、大人として道を示し、しかるときはしかることですね。

サッカー部の監督として全国大会に出場しましたが、教員である以上は、保護者やクラブチームの指導者よりもより生徒にも、「あの先生の所なら大丈夫、いいことがあるはず」と思ってもらえるような指導者になりたいです。



「第八十七回全国高校サッカー選手権大会」で初優勝!

—後輩たちにメッセージを!

大学時代のサッカー部では、仲間と部の運営方法を相談し、先生の指導を受けながら自分たちで戦術や練習を考えて、4年生のときに総理大臣杯でベスト8に入りました。その経験は、今の指導に生きています。僕は、広島で生まれ育って県外に出たことがないので、「関西や関東の大学に行くとけば良かったかな」と思うこともあります。でも、広大には全国からいろいろな人が集まってくるし、仲間ときちんと考えてやれば、外に出なくても十分すごいことができます。「広大は田舎で嫌だな」なんて思わずに、自信を持ってがんばってください。



社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことは、また「フライング」の話を、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。



取材を終えて



「なんでもオッケーでは信頼関係は成立しない」という先生の言葉が、ガツンとききました。私自身、相手が間違ったことをしたときに指摘をしたり、批判をしたりするのは苦手です。でも、逃げちゃだめなんだな、と痛感しました。これからは、本当の意味で、相手にとって必要なことを言える人間になりたいです。

取材・記事/法学部4年 及川 皓司

—現在の仕事内容とやりがい—

体の外側から用いる医薬品や化粧品などを扱う外用剤開発研究室で、クリームの開発や処方設計を担当しています。製品ラインのリニューアルや新製品の開発など、研究テーマがたくさんあり大変ですが、やりがいもあります。



大正製薬には、各自が挑戦したい研究テーマを提案できる制度があります。私の提案も昨年採択され、現在、2年計画で進めています。日常業務と並行して行い、次期製品に結びつく成果も求められるので大変ですが、自由な発想で研究できることに、やりがいを感じます。いつか、自分が開発した技術を使って、長く愛される製品を作りたいです。

—就職したきっかけ—

大学院のとき、マヨネーズやクリームなど、食品や医薬品、化粧品の製造に幅広く応用されているエマルジョン（乳化）の物性を研究していたので、メーカーで製品開発の仕事に就きたいと思っていました。

大正製薬は、OTC医薬品*のトップメーカーで、面接で会社を訪れた際、多くの女性が活躍しているのを見て、長く働ける職場だと思い、就職を決めました。



女性は流行に敏感で、家族の薬を買うのはお母さんという場合が多いですね。女性の心に響かないと、なかなか売れないので、製品開発でも、女性としての意見を求められることが多いです。

—職場の雰囲気は？—

日常業務をこなしながらも、新しい製品の種やアイデアを探している人が多く、みんな仕事に対するモチベーションが高いですね。適当に仕事をしていると、それなりの人だと思われるので、常にはがばらないといけない職場だと

*OTC医薬品…処方せんなしで薬局などで購入できる医薬品

感じています。

長年勤めている方の中には、「〇〇についてはこの人に聞け」みたいに、得意分野や強みを持っている方が多く、みんなにすごく信頼されています。私も、言われたことをこなすだけではなく、仕事の中で、何か自分の強みを見つけたいと思っています。

—先輩へアドバイスを！—

私は、大学時代の研究と関連のある仕事をしていますが、会社では一から学ぶことができるので、大学時代は、研究に取り組む姿勢や行動力、そういう本質的なことを学ばばいいと思います。私のお勧めは、国内・海外を問わず旅行をすること。さまざまな地域の文化に触れることで、自分の視野が広がり、行動力が付いたと思います。学生時代の時間を有効に使い、たくさんのことを学んでください。

高田有紀子 Yukiko Takata

大正製薬株式会社 セルフメディケーション開発研究所
外用剤開発研究室
(2005年3月 生物圏科学研究科博士課程前期修了)

**仕事でも勉強でも、
大切なのは、取り組む姿勢と行動力。**



「どんな製品でも、開発に携われることが面白い」と話してくれた高田さん。高いモチベーションを維持しながら仕事をしているのが伝わってきて、大変刺激になりました。私も、努力を怠ることなく強い気持ちを持ち続け、社会で必要とされる人間になれるようがんばります！

取材・記事 / 高浪 徹也 総合科学部卒業

